

## 訓練カリキュラム

訓練実施機関名: \_\_\_\_\_

訓練の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	基礎コース ( )	就職を想定する職業・職種		
	<input checked="" type="checkbox"/>	実践コース ( 02 IT分野 )			
	<input type="checkbox"/>	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	<input type="checkbox"/>	託児サービス支援付訓練コース	
	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	短時間訓練コース	
訓練科名	フロントエンドプログラミング科(短期間・短時間)			Webアプリケーションプログラマー	
募集期間(予定)	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日				
選考日(予定)	令和 年 月 日				
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/>	面接	<input checked="" type="checkbox"/>		筆記試験
選考結果通知日	令和 年 月 日				
訓練期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 月 )			( 訓練日数 日 )	
訓練時間	時 分 ~ 時 分		訓練定員	名	
訓練対象者の条件	主として、新型コロナウイルスの影響を受けてシフトが減少した方や休業を余儀なくされている方など、在職中で訓練時間に配慮が必要な方。キーボード操作、ファイル操作ができる方				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/>	新規学校卒業者	<input type="checkbox"/>	ニート等の若者	
	<input type="checkbox"/>	被災者	<input type="checkbox"/>	障害者	
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	母子家庭の母等	
訓練目標 (仕上がり像)	ウェブ・コンテンツ提供業事業所においてWeb制作のフロントエンド作業ができる。				
訓練修了後に取得できる資格	<input type="checkbox"/>	名称 ( )	認定機関 ( )	任意受験	
	<input type="checkbox"/>	名称 ( )	認定機関 ( )	任意受験	
	<input type="checkbox"/>	名称 ( )	認定機関 ( )	任意受験	
	<input type="checkbox"/>	名称 ( )	認定機関 ( )	任意受験	
	<input type="checkbox"/>	名称 ( )	認定機関 ( )	任意受験	
訓練内容	訓練概要	WebサイトのHTML/CSSコーディング、動的サイト制作に関する知識及び技能・技術を習得する。			
		科目	科目の内容	訓練時間	
	学科	安全衛生	心身の健康管理(VDT含む)、整理整頓の原則、安全衛生の事例	2時間	
	実技	HTML/CSSコーディング	HTMLコーディング(構造、テキスト、リスト、テーブル、リンク、画像、フォーム)、CSSコーディング(カラー、フォント・テキスト、ボックス、背景)、Web標準に準拠したコーディング、各ブラウザによる表示確認、SEO対策、アクセシビリティ対策、バリエーション	60時間	
		動的サイト制作	動的サイトの確認、JavaScriptプログラミング(プログラミング方法、変数、条件分岐、反復処理、Webコンテンツとの連携)、Ajax技術・WebAPIの活用、動的サイト制作演習	48時間	
		Web制作演習	コーディング準備(制作ルールの決定、マニュアル化、サポート体制の確立、環境の用意、)、Webコンテンツ連携、Webサイト制作、制作サイトのプレゼンテーションと講評(小グループ演習)	43時間	
	企業実習	<input checked="" type="checkbox"/>	実施しない	実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職場見学】	「〇〇の職場」㈱〇〇	6時間	
訓練時間総合計	159時間	学科 2時間	実技 151時間	企業実習 0時間	職場見学等 6時間

**1. カリキュラムの概要**

・Webアプリケーションプログラマーの一部の技能(Webアプリケーションのうち、フロントエンド部分を作成する技能)を習得する内容を想定しています。  
(カリキュラム作成ナビ(デジタルブック版)p171 「Webクリエイター養成科」から科目を抽出し、作成しています。)

**2. カリキュラム作成上の留意事項**

(1) 想定職種

IT分野として認定されるためには、IT分野に相当する想定職種(※)の記載が必要です。このカリキュラムにおける例は以下の通りです。  
(※)認められる例: Webアプリケーションプログラマー  
認められない例: Webデザイナー

(2) 専門科目、専門実技について

・IT分野として認定されるためには、IT分野の想定職種に対応した専門科目を総訓練時間の50%以上、専門実技を総訓練時間の30%以上実施する必要があります。  
なお、当カリキュラムにおいて専門科目となるのは、黄色部分です。

科目: 動的サイト制作、Web制作演習 (JavaScriptによるプログラミング及びそれを使用したWeb制作演習)

【参考1】カリキュラム作成ナビ(デジタルブック版)P.14【IT分野の訓練設定における留意事項(2/2)】上段『『ソフトウェア開発技術者(104)』を養成する訓練におけるカリキュラム例』及び下段「○科目の内容に関する留意事項」  
カリキュラム作成ナビ(デジタルブック版)URL:[https://www.jeed.go.jp/js/shien/curriculum\\_navi.html](https://www.jeed.go.jp/js/shien/curriculum_navi.html)

【参考2】求職者支援訓練に係るカリキュラムの作成に当たっての留意事項P.2注2

(3) その他留意事項

・当カリキュラム等は一例ですので、実際には地域の求人ニーズ等を踏まえて作成してください。  
・要素の追加や削除等のアレンジをしていただいて構いません。  
・新たなカリキュラムを作成されましたら、機構支部にご相談ください。認定基準等の確認をいたします。

様式3-3-3 職業能力証明(訓練成果・実務成果)シート  
(求職者支援訓練用)

訓練コース番号

訓練科名 フロントエンドプログラミング科(短期間・短時間)

訓練受講者氏名

上記の者の訓練期間における当社としての職業能力についての評価は、以下のとおりです。

令和 年 月 日

教育訓練実施機関

所在地

就職支援責任者 氏名

名称

訓練実施施設の責任者 氏名

## I 訓練期間・訓練目標

訓練期間	訓練時間	訓練目標(仕上がり像)
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日	159時間	ウェブ・コンテンツ提供業事業所においてWeb制作のフロントエンド作業ができる。

## II 知識・技能・技術に関する能力 (「知識・技能・技術に関する評価項目」ごとに、該当する欄に○を記入)

## (1) 科目評価

A: 到達水準を十分に上回った B: 到達水準に達した C: 到達水準に達しなかった 評価は、試験結果等に基づき記入されたものです)

科目名	評価			知識・技能・技術に関する評価項目	コード	
	A	B	C			
学科	安全衛生			(1) 事故防止のため心身の健康を自己管理することを知っている	B002101	
				(2) 作業場を常に整理するなど、危険を誘発する要因の除去の必要性について知っている	B002101	
実技	HTML/CSSコーディング			(1) (X)HTMLによりページの構造を指定できる	G39#011202	
				(2) CSSによりページレイアウトを指定できる	G39#011202	
				(3) 元デザインを忠実に反映したHTMLコーディングができる	G39#011202	
				(4) Web標準に準拠したサイト制作ができる	G39#011202	
				(5) Webブラウザの種類・バージョンで適正に表示・動作することをチェックできる	G39#011202	
				(6) SEOを考慮したコーディングができる	G39#011202	
				(7) アクセシビリティを考慮したコーディングができる	G39#011202	
				(8) ページの安定表示・動作のために(X)HTMLとCSSのパリテーションを実施できる	G39#011202	
		動的サイト制作			(1) Java Script言語を使うことができる	G39#011252
		Webデザイン演習(制作)			(1) 制作や運用上の重要事項をルール化したルールセットを用意して、制作作業の効率化や品質確保を図ることができる	G39#011202
				(2) プロジェクトを全体的に理解し、必要なマニュアルを企画できる	G39#011262	
				(3) プロジェクトに関するマニュアルを制作できる	G39#011262	
				(4) プロジェクトに必要なサポート体制を企画できる	G39#011262	
				(5) プロジェクト進行に応じてサポート業務を行うことができる	G39#011262	

評価項目の引用元(企業横断的な評価基準を活用した場合のみ)

(総評・コメント)

(特記事項)